

研究課題名	間脳下垂体疾患の長期追跡に基づく臨床像と転帰の検討
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 准教授 飯田幸治
研究期間	2020年5月18日(倫理委員会承認後)～2027年12月31日
対象者	1990年1月から2025年12月の間に、広島大学病院脳神経外科で間脳下垂体疾患に対する治療を受けられた患者さん。
意義・目的	間脳下垂体疾患は良性腫瘍のことが多く、本来は数十年という長期的な視点で治療する必要があります。しかし間脳下垂体疾患は発生頻度が低い疾患でもあり、その長期的な転帰ははっきりしていない部分も多いです。広島大学病院は40年以上も前から間脳下垂体疾患の治療に取り組んできており、これまで蓄積されてきたデータを用いて、間脳下垂体疾患の長期的な転帰を検討することを目的としています。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査(内分泌学的データ)、画像所見、病理所見、周術期合併症、転帰、予後などです。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 准教授 飯田幸治
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 Tel: 082-257-5227 広島大学病院 脳神経外科 診療講師 木下 康之